



6月号

令和6年5月31日

神根小だより

川口市立神根小学校

在籍児童268名16学級



## 自らの学びへ

校長 篠崎 弘敬

先日の運動会には、保護者の皆様、地域の皆様、ご来校していただきありがとうございました。無事運動会を終えることができました。運動会の練習は、5月のゴールデンウィーク明けから行い練習を重ね当日を迎えました。私は子供が頑張る姿を見るのが大好きです。

真剣な眼差しで練習に取り組む姿、仲間と一体になって喜ぶ姿、時には、意見の衝突等もあるでしょう。いろいろなことを経験し乗り越えて子供たちは成長していきます。

運動会当日に見せた子供たちの頑張る姿には心を打たれました。開会式・閉会式や運動会の練習時に見せた態度は昨年を上回るもので子供たちの成長を実感できる瞬間でもありました。神根小学校の子供たちは、「運動会」という学校行事に真剣に取り組むことで大きく成長したのではないかと思います。

私は、毎朝校門前に立って子供たちと挨拶をかわしています。5月になり挨拶をする声も大きくなってきました。中には遠くから「校長先生おはようございます」と大きな声で挨拶をしてくれる子もいます。そんな些細な子供たちと関われる瞬間に幸せを感じる日々です。毎日お世話になっている地域の方々や旗振り当番の保護者の皆様にもしっかり挨拶をし感謝する心を育てていきたいと考えています。

そんな日々の中で嬉しい出来事がありました。挨拶を交わした後、ある子供と学校生活についての話になりました。私は、「学校生活で何を楽しみにしているの？」と尋ねました。その子供は「授業が楽しいです」特に「算数が楽しいです」「いろいろな問題に取り組むことが楽しいです」と教えてくれました。「授業が楽しい、学ぶことが楽しい」と開口一番に答えてくれたことがとても嬉しかったです。学校生活の大部分は授業です。その内容を充実させ子供たちを学びに向かわせることが重要であると考えています。

本校は『学びの共同体』に取り組んでいます。ペア学習やグループ学習が中心になる学習形態です。『学びの共同体』の学習では、自分から分からないことを聞くことができるようにすることが重要です。以前から行われていた教え合いの授業では、分からないことを分かる人から教わります。これでもいいのですが受け身の姿勢になってしまいがちです。分からないことを聞き合える授業を展開し、自分から分からないことを聞けるようにし主体性を育てていければと考えています。その力が自ら学ぶ姿勢につながるからです。保護者の皆様には、自分のお子さんから疑問を投げかけられたりわからないことを調べようとしていたりしている姿を見ましたら自ら発信する姿勢を褒めていただければ幸いです。その言葉がけが、子供たちが主体的に学びに向かう土台となります。できる範囲でお願いできればと思います。今月は大学の先生をお呼びして『学びの共同体』の研修会を実施します。全てのクラスが授業を公開し指導をしていただきます。今月も子供たちが自ら学びに向かう態度を育てるために職員一同一丸となって努力して参ります。今後も子供の健やかな成長のために保護者の皆様と連携して教育活動を行っていきます。どうぞよろしくお願ひします。